

一般国道42号

おおみや おおだい

大宮大台 I C 関連

(道路事業)

説明資料

平成23年2月14日

中部地方整備局

目 次

1. 大宮大台 I C 関連事業概要

- (1) 事業目的 P 1
- (2) 計画概要 P 2

2. 費用対効果分析

- (1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 P 3
- (2) 費用便益比 (B / C) P 3

3. 評価の視点

- (1) 事業効果の発現状況 P 4
 - 1) 奥伊勢地域の交通円滑化 P 4
 - 2) 奥伊勢地域の交通安全性の向上 P 5
 - 3) 交通の利便性の向上 P 6
 - 4) 地域の活性化 P 8
- (2) 社会経済情勢の変化 P 9
 - 1) 広域ネットワークの進展 P 9
 - 2) 人口の変化 P 9

4. 対応方針 (案) P 10

1. 大宮大台 I C 関連事業概要

(1) 事業目的

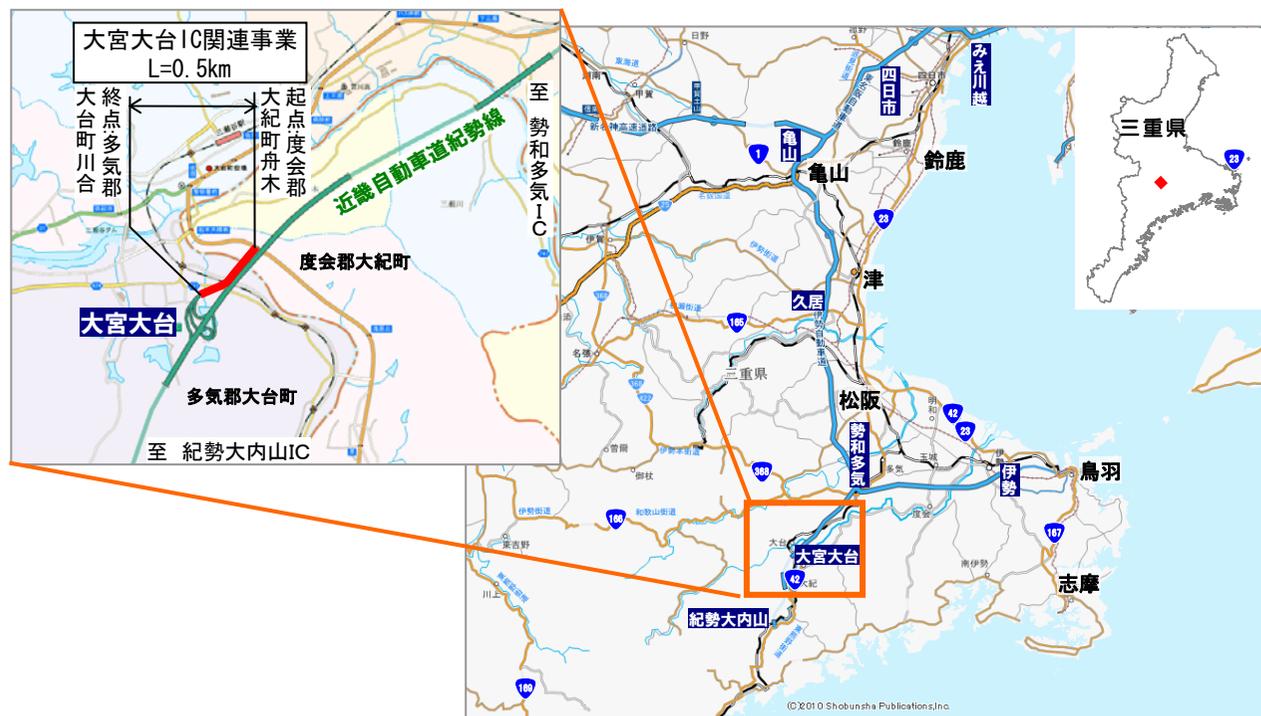
近畿自動車道紀勢線は、大阪府松原市を起点に紀伊半島沿岸を通り三重県多気郡多気町で伊勢自動車道につながる延長約336kmの国土開発幹線自動車道です。

一般国道42号大宮大台 I C 関連は、近畿自動車道紀勢線の大宮大台 I C と国道42号との接続（ランプ接続）を図るための事業であり、平成10年度より事業に着手し、平成18年3月に開通しました。

本事業は、奥伊勢地域（大台町・大紀町周辺）を対象に次の点を主な目的として整備を行いました。

- ①交通円滑化と交通安全性の向上
- ②交通の利便性の向上
- ③生活圏の拡大や地域活性化への寄与

大宮大台 I C 関連の全体位置図

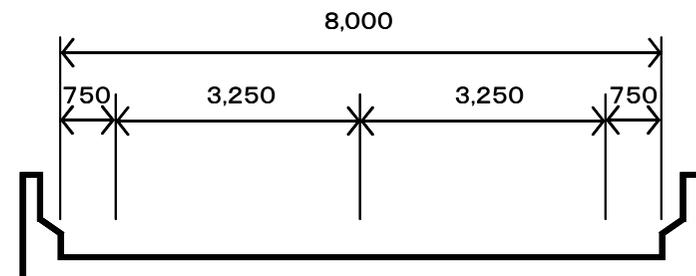


1. 大宮大台 I C 関連事業概要

(2) 計画概要

- 事業名 : 一般国道42号 大宮大台 I C 関連
わたらいぐんたいいきちようふなき
- 起終点 : (起点) 三重県度会郡大紀町舟木
たきぐんおおだいちようかわい
(終点) 三重県多気郡大台町川合
- 延長 : 0.5 km
- 道路規格 : ランプ規格 (B規格)
- 設計速度 : 30 km/h
- 車線数 : 2車線
- 都市計画決定 : 平成 3 年度
- 事業化 : 平成 10 年度
- 用地着手年度 : 平成 10 年度
- 工事着手年度 : 平成 11 年度
- 全体事業費 : 19 億円

標準断面図



単位 : mm



大宮大台IC・ランプ橋

2. 費用対効果分析

(1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

■費用便益比（B／C）

$$\begin{aligned} \diamond \text{費用便益比(B/C)} &= \frac{\text{走行時間短縮便益} + \text{走行経費減少便益} + \text{交通事故減少便益}}{\text{事業費} + \text{維持管理費}} = \frac{287 \text{ 億円} + 60 \text{ 億円} + 5.7 \text{ 億円}}{24 \text{ 億円} + 2.4 \text{ 億円}} \\ &= \frac{353 \text{ 億円}}{26 \text{ 億円}} = 13.6 \end{aligned}$$

※事業費及び維持管理費は現在価値に換算

○前回評価時の費用便益(B/C)との比較

■当該事業の事業化年度は平成10年度であり、新規採択時評価は実施されていない。
また、事業完了は平成17年度であるため再評価も実施されていない。

■費用・事業期間

事 項	事業完了時	備 考
全体事業費	19億円	
事業期間	H10年度～H17年度 〈事業期間8年〉	

■施設の利用状況

事 項		供用前	供用後	変化	備 考
交通量	国道42号	20,200台/日 (H17)	14,200台/日 (H18)	6,000台/日 減少	IC供用により、交通が転換し、 国道42号の交通量が減少
	ICランプ	—	4,900台/日 (H18)		

注) 交通量 供用前：H17センサス
供用後：H18年6月交通量調査

3. 評価の視点

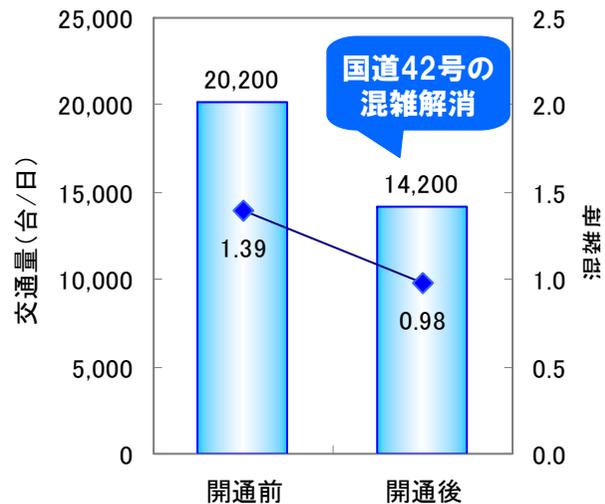
(1) 事業効果の発現状況

1) 奥伊勢地域の交通円滑化

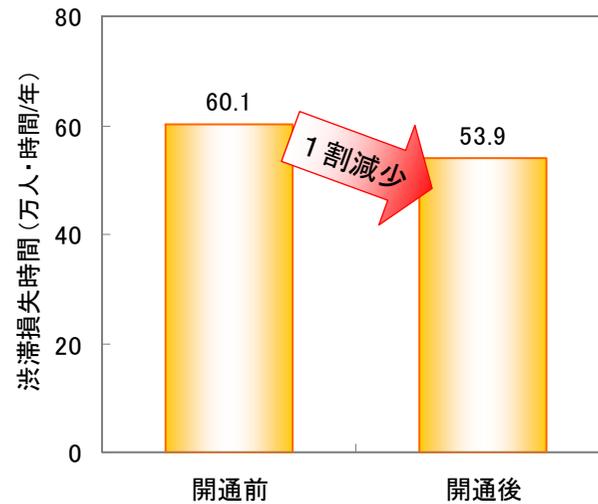
■大宮大台ICおよび近畿自動車道紀勢線の整備により、国道42号大宮大台IC周辺の区間では、**混雑度の低下、渋滞損失時間の減少**など、交通状況が改善されました。

当該路線の供用により、国道42号の混雑が解消

【国道42号の交通量と混雑度】



【国道42号の渋滞損失時間】

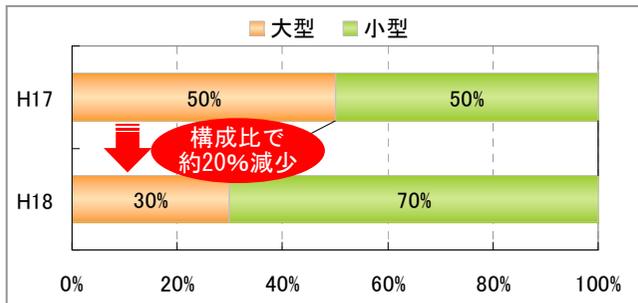


3. 評価の視点

2) 奥伊勢地域の交通安全性の向上

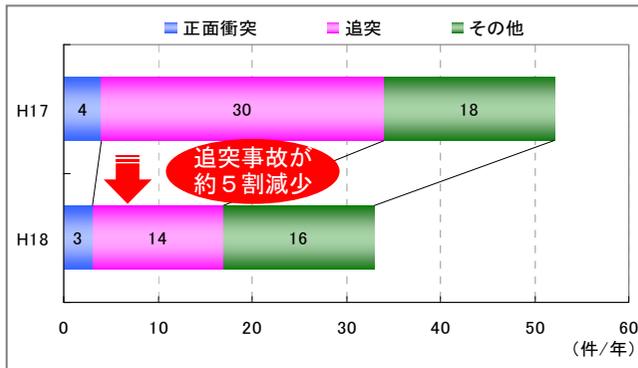
- 大宮大台 I C および近畿自動車道紀勢線の供用（勢和多気IC～大宮大台IC）により、大型貨物が国道42号から近畿自動車道紀勢線に転換し、国道42号における**大型貨物交通量が約3割減少**しました。
- 大型貨物交通量が減少したこと等により、国道42号（近畿自動車道紀勢線並行区間）の**死傷事故率が約5割減少**し、交通の安全性が大幅に向上しました。

【国道42号の死傷事故車種別構成比】



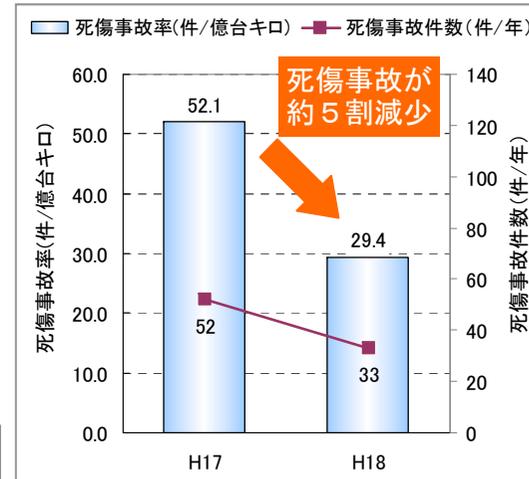
注) 平成17年道路交通センサス 調査単位区間番号1054の事故データ

【国道42号の類型別死傷事故件数】

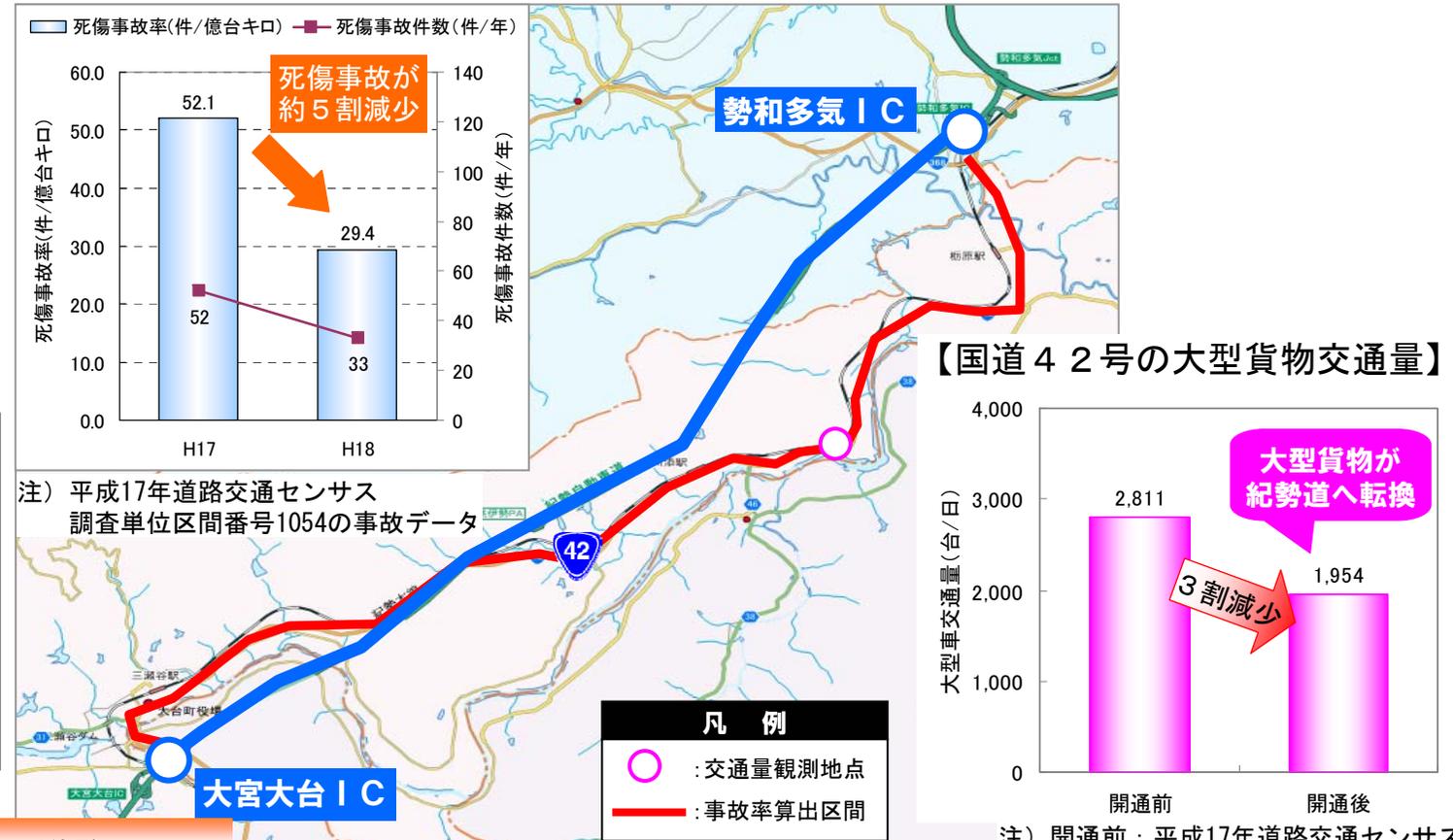


注) 調査単位区間番号1054の事故データ

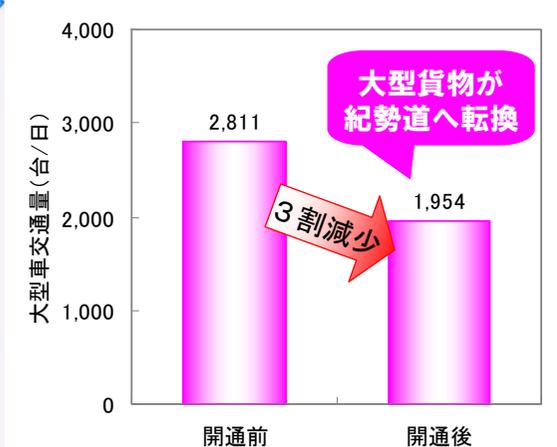
【国道42号の死傷事故率】



注) 平成17年道路交通センサス 調査単位区間番号1054の事故データ



【国道42号の大型貨物交通量】



注) 開通前：平成17年道路交通センサス 開通後：平成18年6月交通量調査

国道42号が安全安心で使いやすい道路に！！

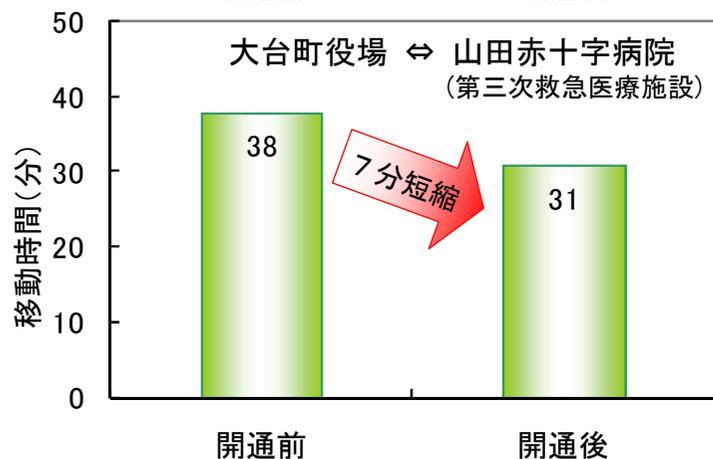
3. 評価の視点

3) 交通の利便性向上

◇救命救急の利便性が向上

- 奥伊勢地域の主要な幹線道路は国道42号のみで、高次救急医療施設への移動に時間を要しています。
- 大宮大台ICおよび近畿自動車道紀勢線の整備により、大台町から松阪市、伊勢市への移動時間が短縮され、**高次救急医療施設に約30分で到達可能**となりました。

【高次救急医療施設への搬送時間】



注) 開通前：道路時刻表05
開通後：道路時刻表07

●● 関係者の声 ●●

・高次医療施設へ転院を行う場合、紀勢線の利用により、患者さんの負担が軽減されました。また、同行する医師の拘束時間も短くなり、医師の負担も軽減されています。(病院関係者)



3. 評価の視点

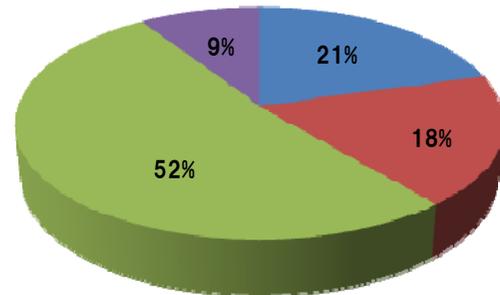
◇通勤・通学の利便性が向上

■大台町・大紀町の自町外の通勤・通学者は約4割で、その割合が大きいのは松阪市・多気町。

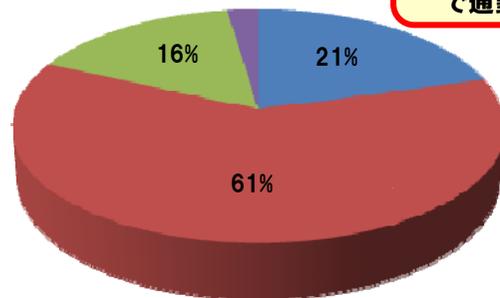
■大宮大台ICおよび近畿自動車道紀勢線の整備により、大台町・大紀町から他市町村への通勤・通学者の内、新たに約4割（39%→82%）の人が30分以内での移動が可能になりました。

【所要時間別の通勤・通学人口の変化】

大台町・大紀町常住者の通勤・通学先までの所要時間
《開通前》



《開通後》



大宮大台IC供用により、約43%の人が新たに30分以内で通勤・通学が可能に

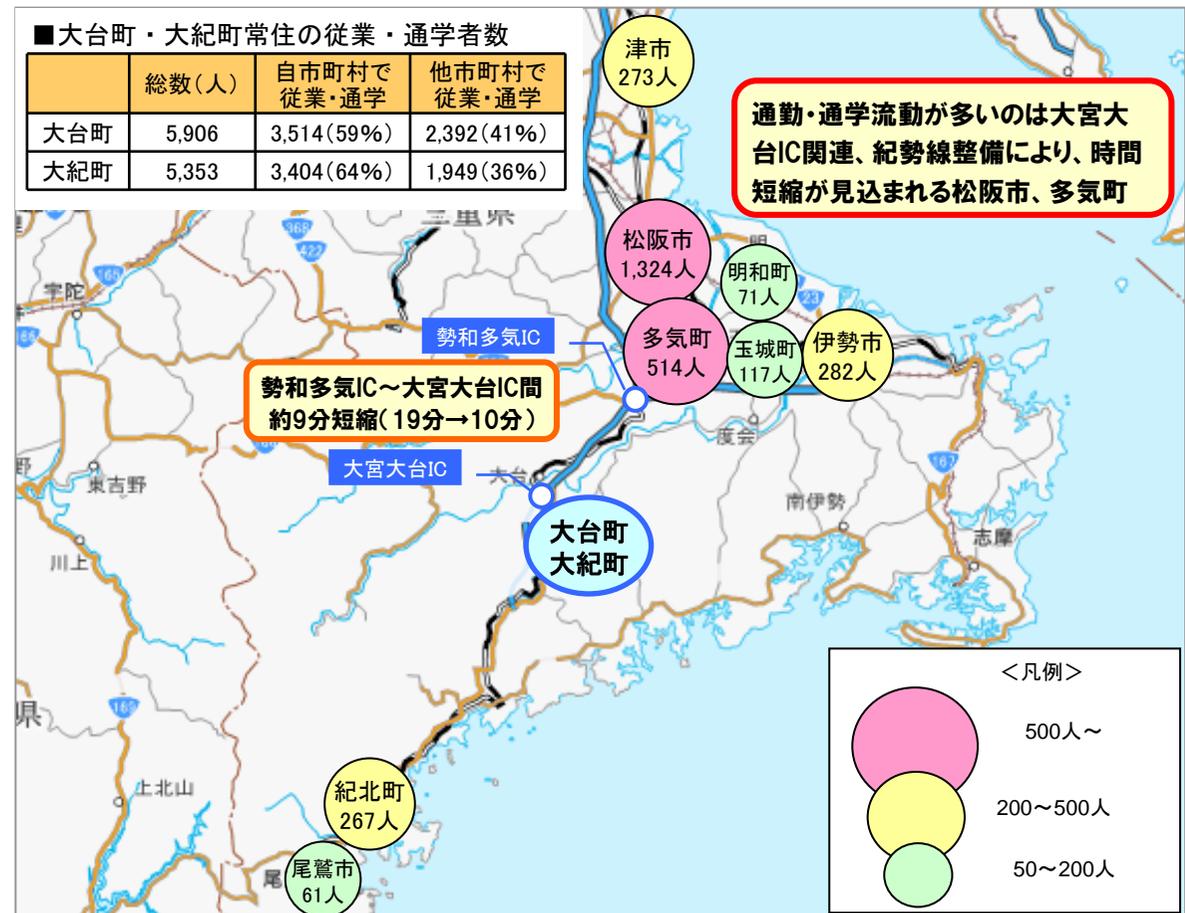
- ～15分未満
- 15～30分
- 30～60分
- 60分以上

注) 開通前：道路時刻表05
開通後：道路時刻表07

【大台町・大紀町常住者の通勤・通学流動】

■大台町・大紀町常住の従業・通学者数

	総数(人)	自市町村で従業・通学	他市町村で従業・通学
大台町	5,906	3,514(59%)	2,392(41%)
大紀町	5,353	3,404(64%)	1,949(36%)



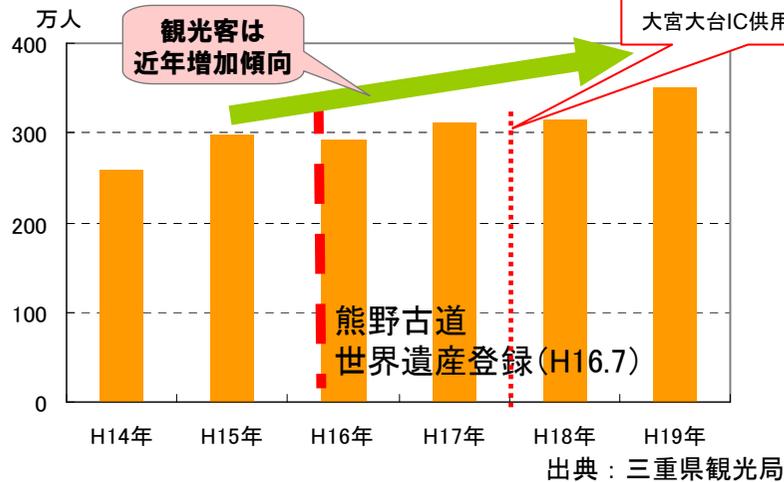
3. 評価の視点

4) 地域の活性化

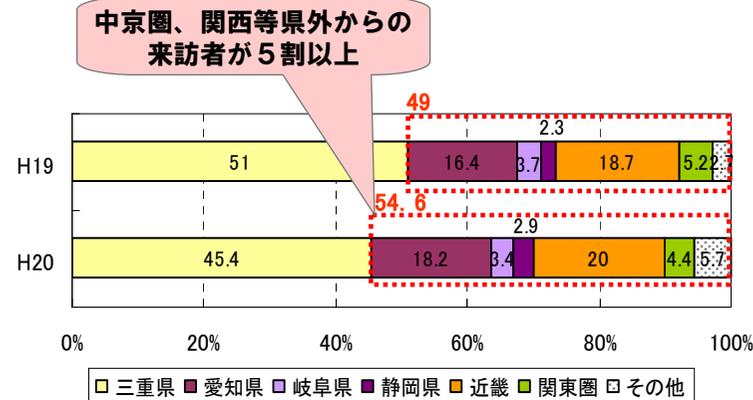
■大宮大台ICおよび近畿自動車道紀勢線の整備により、「熊野古道」をはじめとした歴史文化遺産や自然景観を有する三重県南部地域（奥伊勢地域含む）への**観光入込客数の増加**に寄与しています。

■近畿自動車道紀勢線の開通による所要時間の短縮により、中京圏や関西等の県外からの来訪者が多くみられます。また、高速バスの近畿自動車道紀勢線利用により、**定時性確保・移動時間短縮**など**利便性の向上**が実感されています。

【三重県南部への観光入込客数の推移】

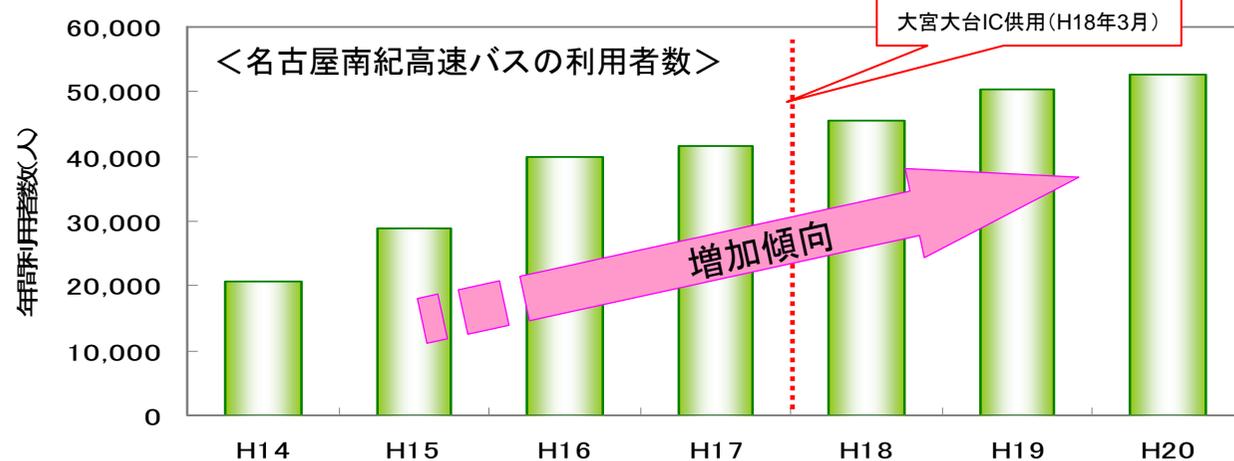


【三重県南部地域への来訪者の出発地】



熊野古道

＜名古屋南紀高速バスの利用者数＞



●● 関係者の声 ●●

- ・紀勢線（勢和多気IC～大宮大台IC）の開通に伴い、運行ルートを変更しました。その結果、名古屋～熊野間の所要時間が15～20分短縮しています。（H18年度ヒアリング結果）
- ・紀勢道や伊勢道はかなり定時性・確実性が高く、熊野古道など名古屋からのバスツアーに時間のゆとりが生まれています。（高速バス事業者、H21年度ヒアリング結果）

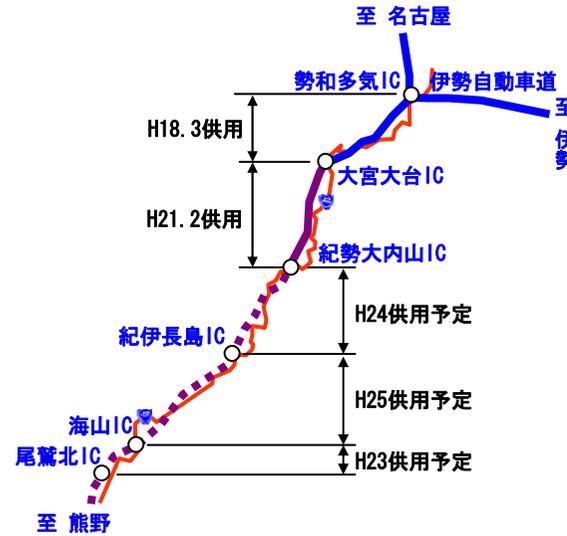
出典：紀勢国道事務所ヒアリング調査より

3. 評価の視点

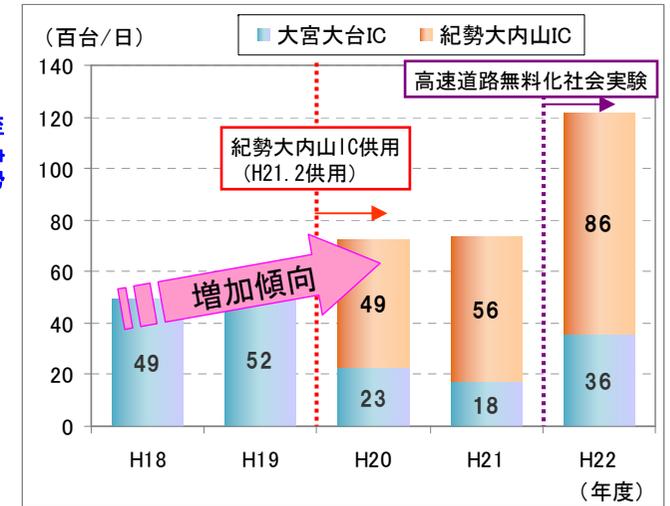
(2) 社会経済情勢の変化

1) 広域ネットワークの進展

- 大宮大台 I Cの本線である近畿自動車道紀勢線は、平成17年度に伊勢自動車道と接続しました。
- 近畿自動車道紀勢線では整備が進み、平成20年度には紀勢大内山 I Cまで延伸しました。



【紀勢線(大宮大台 I C、紀勢大内山 I C) 出入り交通量】

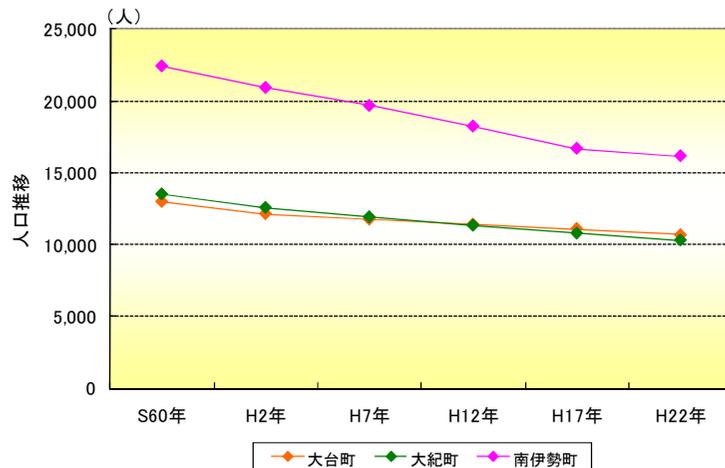


注) H18、19、21年度：年度1年間の日平均交通量
 H20年度：H21.2~H21.3の2ヶ月の日平均交通量
 H22年度：H22.4.1~H22.10.31の7ヶ月の日平均交通量

2) 人口の変化

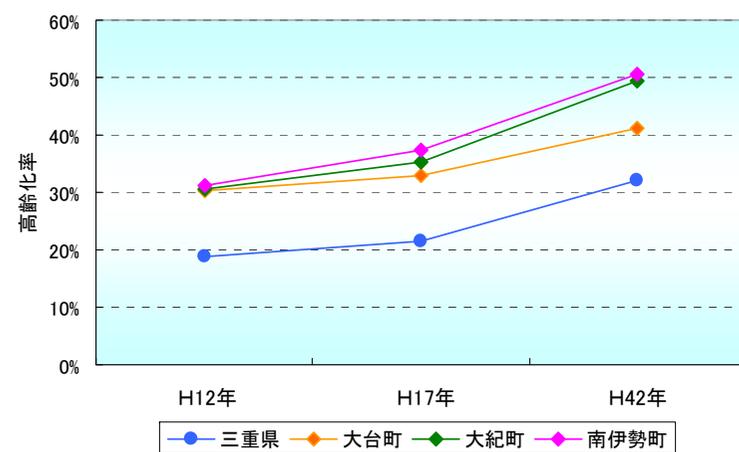
- 大宮大台 I C周辺における各町村では年々人口が減少し、高齢化率は増加傾向にあります。
- 今後も高齢化は進展することが予測され、救急医療施設への搬送を円滑に行う必要があります。

●大宮大台 I C周辺地域の人口推移



注) S60~H17：国勢調査 H22：住基台帳登録人口 (H22.3.31時点)

●大宮大台 I C周辺地域の高齢化率の推移



3. 対応方針（案）

平成17年度の完成から一定期間（5年間）が経過したことから、以下の視点で事後評価を行いました。

○今後の事業評価の必要性

大宮大台 I C 関連は事業が完了しており、当初の整備目的どおりの効果が発現していることから、今後の事後評価の必要性はないと考えます。

○改善措置の必要性

大宮大台 I C 関連事業は、当初の整備目的を達成していると判断できるため、改善措置の必要性はないと考えます。

○同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

本事業は当初の整備目的どおりの効果を確認していることから、同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要はないと考えます。